

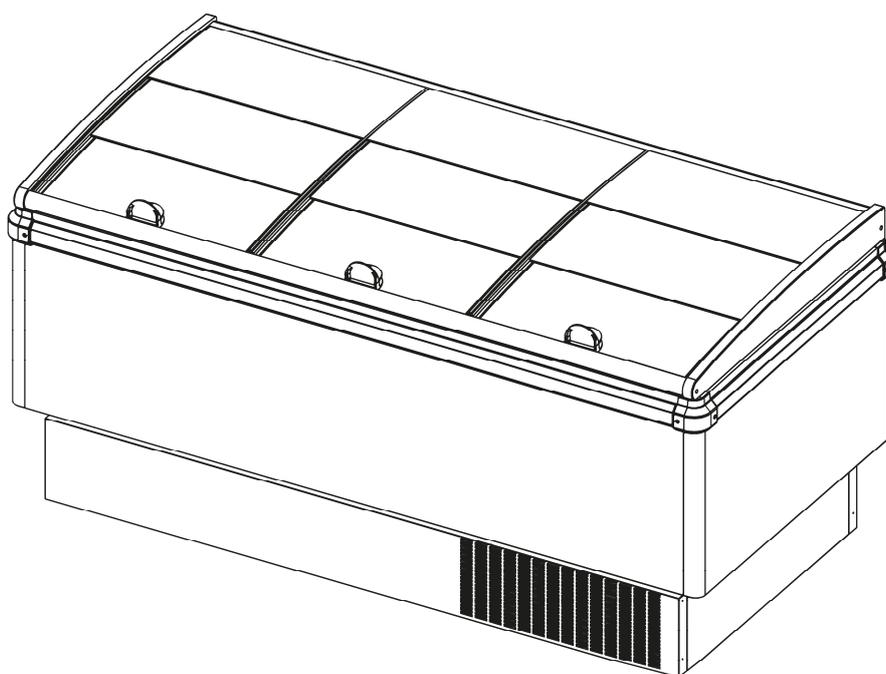


## 三菱ショーケース（冷凍機内蔵形）

### 取扱説明書 （業務用）

エスブイ ジェイエフ ジェイテーブイエー

# SV-JF684JTVA



- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
特に「安全のために必ず守ること」は必ず読んで正しくお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- お使いの製品を貸与される場合は、新しくお使いになるお客様が安全な正しい使い方を知るために、この「取扱説明書」を製品の目立つところに添付してください。
- 別紙の「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。また製品を貸与されるときは製品に添付してください。
- ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。  
（安全や機能の確保ができません）

このショーケースは、自然冷媒R290（プロパン）を使用しています。

#### お取扱販売店の方へ

ショーケースをお客様に引き渡しされる前に、必ず取扱説明書で「安全のために必ず守ること」「ご使用方法」等をお使いになる方にご説明ください。

## 特長

### 1. 自然冷媒（R290）を採用

R290（プロパン）は地球温暖化係数※ 3 であり、地球環境に配慮した製品です。

※地球温暖化係数とは二酸化炭素を基準として他の温室効果ガスがどれだけ温暖化する性質があるかを表した数値

### 2. 省エネ性の追求

自然冷媒の中でもエネルギー効率の良い高いR290（プロパン）を採用し、地球温暖化抑制と高効率を両立しました。

### 3. 安全性

万が一冷媒が漏洩しても、安全確保をするための機能を搭載しています。

## よくあるご質問

**Q** 冷却運転停止中に送風機（凝縮器）が運転をしている。

**A** 冷媒が漏れた場合の安全性を確保するため、常に送風機（凝縮器）を運転して空気を攪拌しています。

**Q** 冷却運転停止したときに圧縮機の運転音が聞こえる。

**A** 庫内から冷媒が漏れた場合の安全性を確保するため、運転停止時に冷媒を機械室側に移動をしています。

**Q** コントローラーの表示器に“Pd”が表示されている。

**A** 冷却運転開始後や霜取り運転終了後の急冷中です。庫内温度が目標温度+3℃以下になるか霜取り運転終了1時間経過後に温度表示に戻ります。

**Q** 冷却運転の庫内温度を調整したい。

**A** コントローラーで設定変更ができます。

**P.16**

**Q** 霜取り運転の周期は？

**A** 工場出荷時は、2日毎に朝の7時に霜取り運転を開始するように設定しています。周期及び霜取り運転開始時間はコントローラーで設定変更ができます。 **P.17** **P.18**

**Q** 霜取り方法は？

**A** ヒータ方式です。  
ヒータの熱で霜取りを行います。

# もくじ

	ページ		
ご使用の前に	安全のために必ず守ること	4	
	ご使用上のお願い	8	
	各部のなまえとはたらき	9	
	ご使用前の準備	11	
	ご使用方法	14	
ご使用のときに	冷却運転を開始・停止する	…14	
	商品の入れ方	…14	
	工場出荷設定値	…15	
	冷凍⇔冷蔵を切り替える	…15	
	目標温度設定値を変更する	…16	
	霜取り周期について	…16	
	霜取り運転周期を変更する	…17	
	霜取り運転開始時刻を変更する	…18	
	コントローラ キー操作ロック機能について	…19	
	コントローラ キー操作ロックのしかた	…20	
	コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた	…21	
	コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた	…21	
	ドレン満水警報の解除のしかた	…22	
	消耗品	…22	
	こんなときに	お手入れと点検	23
		お手入れ・点検箇所と頻度	…23
		お手入れをする前に	…24
フィルター		お手入れ：月に1回以上	…25
ドレン口・ドレン溝		お手入れ：月に1回	…26
蒸発板		お手入れ：半年に1回	…27
電源プラグ		お手入れ：半年に1回	…28
漏電遮断器		点検：半年に1回	…28
蒸発皿		点検：日常	…29
水位センサ		点検：日常	…29
故障かな？と思ったら		30	
運転しない		…30	
音がうるさい		…30	
よく冷えない	…31		
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	…31		
ドレン満水警報が赤く点滅する	…32		
コントローラの操作ができない	…32		
コントローラ にエラー表示が出たときは	…33		
据付工事確認と試運転	34		
保管・移設・廃棄について	34		
仕様	35		
保証とアフターサービス	裏表紙		

# 安全のために必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
---	--------------------------------

 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	------------------------------------

- 図記号の意味は次の通りです。

してはいけない「禁止」事項	知っていただきたい注意事項
 <b>禁止</b>	 <b>火災の危険あり 可燃性物質</b>
 <b>分解禁止</b>	 <b>回転物注意</b>
 <b>接触禁止</b>	お守りいただく「指示」事項
 <b>ぬれ手禁止</b>	 <b>指示を守る</b>
 <b>水ぬれ禁止</b>	 <b>アース接続</b>

## 全般

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b>	ショーケースにたばこや火気を近づけたり、火気のそばで使用しない 火災の原因	 <b>禁止</b>	ショーケースの吸気・排気口をふさがない 冷媒漏えい時の安全確保に必要な風量が低下し火災の原因
	 <b>禁止</b>	冷媒が漏れたときに安全を確保するための機能を備えているため、お手入れ・点検時以外は電源を切らない 火災の原因	 <b>火災の危険あり 可燃性物質</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷媒が滞留しないように十分な換気を行う</li> <li>冷媒が充填された状態での火気使用厳禁</li> <li>配管を傷つけたり、損傷させたりしない 火災の原因</li> </ul>
	 <b>確認する</b>	据付・メンテナンス・移設・撤去・廃棄のときはR290対応の携帯形漏えい検知器を常に携帯し、冷媒が漏えいしていないことを確認する 火災の原因	 <b>指示を守る</b>	据付・メンテナンス・お手入れ・移設・撤去・廃棄のときは静電気防止のため軍手などを着用する 静電気による火災の原因

## 電源プラグ・電源コード

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b>	電源コードに重いものをのせたり挟み込んだりしない 火災・感電の原因	 <b>禁止</b>	電源コードを傷つけたり加工しない 火災・感電の原因
	 <b>禁止</b>	電源コードを無理に曲げたりたばねたりしない 火災・感電の原因	 <b>禁止</b>	電源プラグはコードを引っ張って抜かない 発熱・火災の原因

電源プラグ・電源コード つづき

 <b>警告</b>	 ぬれた手で電源プラグを 抜き差ししない 感電の原因 ぬれ手禁止	 電源コードは延長コードの 使用やタコ足配線をしない 発熱・火災の原因 禁止
	 電源プラグのほこりを 定期的に取り ほこりを取る 火災の原因	 電源プラグは、がたのない ように刃の根元まで確実に 差し込む 火災・感電の原因 差し込む

据え付け時

 <b>警告</b>	 屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因 水ぬれ禁止	 湿気の多い所や水のかかり やすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因 水ぬれ禁止
	 ハロゲン系ガスや亜酸化窒素 の近くに据え付けない 爆発・火災の原因 禁止	 周囲に隙間をあげ、通風の 妨げになる物を置かない。 火災の原因 禁止
	 据え付けは販売店または専門 業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因 依頼する	 電源は専用の三相200V コンセントを使用する 発熱・火災の原因 使用する
	 アース端子付きのコンセント にプラグを差す 感電の原因 アース接続	 製品質量に十分耐える所に 据え付けて固定する ケガの原因 固定する

ご使用时

 <b>警告</b>	 製品に直接水をかけない 漏電・感電の原因 水ぬれ禁止	 揮発性・引火性のあるものは 庫内に入れない 爆発・火災の原因 入れない
	 可燃性のスプレーを近くで 使用したり可燃物を置かない 爆発・火災の原因 置かない	 ぬれた手で電気部品の スイッチを操作しない 感電の原因 ぬれ手禁止
	 フィルターは当社標準装備品 以外のは使用しない 安全機能低下による火災の 原因 禁止	 ショーケース庫内で電気機器 を使用しない 爆発・火災の原因 禁止

# 安全のために必ず守ること つづき

## ご使用時 つづき

 <b>警告</b>	 <b>禁止</b> 霜取工程を加速するための機械的な装置、その他の手段を用いない 爆発・火災の原因	 <b>電源を切る</b> 漏電遮断器が作動した場合は電源プラグを抜くか、元電源を切る 火災・感電の原因
	 <b>電源を切る</b> 異常時は運転を停止して、漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 火災・感電の原因	
 <b>注意</b>	 <b>置かない</b> 製品の上には重量物や水を入れた容器を置かない ケガ・感電の原因	 <b>乗らない</b> 製品の上に乗らない ケガの原因
	 <b>禁止</b> ガラスの上に乗ったり、物を置かない ガラス破損によるけがの原因	 <b>入れない</b> 庫内温度0℃以下でご使用のときは、庫内にビンやカン類を入れない ケガの原因
	 <b>禁止</b> ガラスに手をついたり、勢いよく開閉しない ガラス破損によるけがの原因	 <b>禁止</b> ガラスにきずやひびが入った状態で使用しない ガラス破損によるけがの原因
	 <b>排水する</b> コントローラの満水警報が点滅したら、蒸発皿の水をすぐに排水する 床面に水がたれ、転倒・ケガの原因	 <b>清掃をする</b> フィルターは月1回以上清掃する 安全機能低下による火災の原因

## 点検・お手入れのとき

 <b>警告</b>	 <b>分解禁止</b> 専門業者以外の方は絶対に分解・修理・改造をしない 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	 <b>使用しない</b> 指定以外の冷媒を使用しない 破裂・ケガの原因
	 <b>電源を切る</b> お手入れや点検のときは必ず漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 感電・ケガの原因	 <b>確認する</b> 漏電遮断器は定期的に動作を確認する 火災・感電の原因
	 <b>接触禁止</b> フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れない ケガの原因	 <b>回転物注意</b> ファンに指や棒などをいれない ケガの原因

## 保管・移設時

 <b>警告</b>	 <b>電源を切る</b> 長期間ご使用にならない場合は、安全のために漏電遮断器を切り、電源プラグを抜く 火災の原因	 <b>傷つけない</b> 製品を移動するときは、漏電遮断器を切り、電源プラグをコンセントから抜いて電源コードを傷つけないように移動する 火災・感電の原因
	 <b>力を加えない</b> 製品を移動するときは、ガラス部分に力を加えない ケガの原因	 <b>保管する</b> 風通しがよく、近くに火気がない場所に保管する 火災の原因
	 <b>避ける</b> 製品を保管する場合は、幼児が遊ぶ場所を避ける ケガの原因	 <b>置かない</b> 燃えやすい物をショーケースのまわりに置かない 火災の原因
	 <b>依頼する</b> 移設は当社代理店または販売店に依頼する 火災・感電・水漏れ・ケガの原因	
 <b>注意</b>	 <b>水ぬれ禁止</b> 長期間ご使用にならない場合は、水のかかる場所や湿気の多い所に保管しない 漏電・感電の原因	 <b>よく乾燥させる</b> 長期間ご使用にならない場合は、庫内の水気をよく乾燥させる 水漏れの原因
	 <b>排水する</b> 製品を移動するときは、蒸発皿の水を排水をする 漏電・感電の原因	

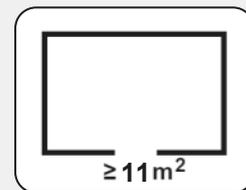
## 設置場所について

- ノンフロン冷媒〈プロパン〉を使用したショーケースを安全にご使用頂くために、**最小設置床面積11m<sup>2</sup>以上、天井高さ2.2m以上の場所に設置してください。**  
**万が一冷媒が漏れた場合、冷媒を拡散させるために必要な設置条件です。**

### 最小設置床面積について

ショーケースを設置する場所の壁で囲われている部分です。  
 同一階で開放している通路でつながっている部屋は床面積に含まれます。  
 ただし、開放している通路とは以下の条件に適合する場合があります。

- ・人が普通に歩ける幅があること
- ・開閉可能な扉がないこと
- ・冷媒を拡散させる際に滞りやすい段差・構造物がないこと



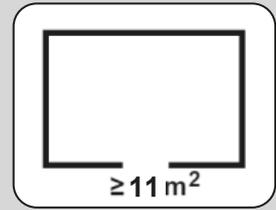
最小設置床面積を表示した名板を点検蓋に貼付しています。

# 安全のために必ず守ること つづき

## 可燃性冷媒を使用したショーケースについて

- このショーケースに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万が一冷媒が漏れて火気に触れると火災が発生するおそれがあります。そのため送風機（凝縮器）を常時運転し、床面や物陰に冷媒がたまらないようにしています。
- 送風機（凝縮器）を常時運転し、冷媒が漏れた場合の安全性を確保しています。ただし、サービス時に冷媒が漏れていることが分かった場合には、より安全性を確保するため、サービスマンが周辺に着火源または引火性もしくは発火性の物がない風通しの良い場所まで移動いたします。
- 機体に貼付けている名板（ラベル）をはがさないください。

<名板（ラベル）>



**警告**

**火災の危険あり / 可燃性物質**

- ・冷媒が滞留しないよう十分な換気を行う。
- ・冷媒が充填された状態での火気使用厳禁。
- ・配管を傷つけたり、損傷させたりしない。

**電源を切らない**

可燃性冷媒を使用しており、冷媒が漏れたときに安全に運用するための機能を備えています。お手入れ・点検時以外は電源を切らないください。



配管を傷つけたり製品が転倒したときは、ただちに運転を停止し、当社販売店または専門業者、「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。可燃性冷媒を使用していますので発火・火災のおそれがあります。

## ご使用上のお願い

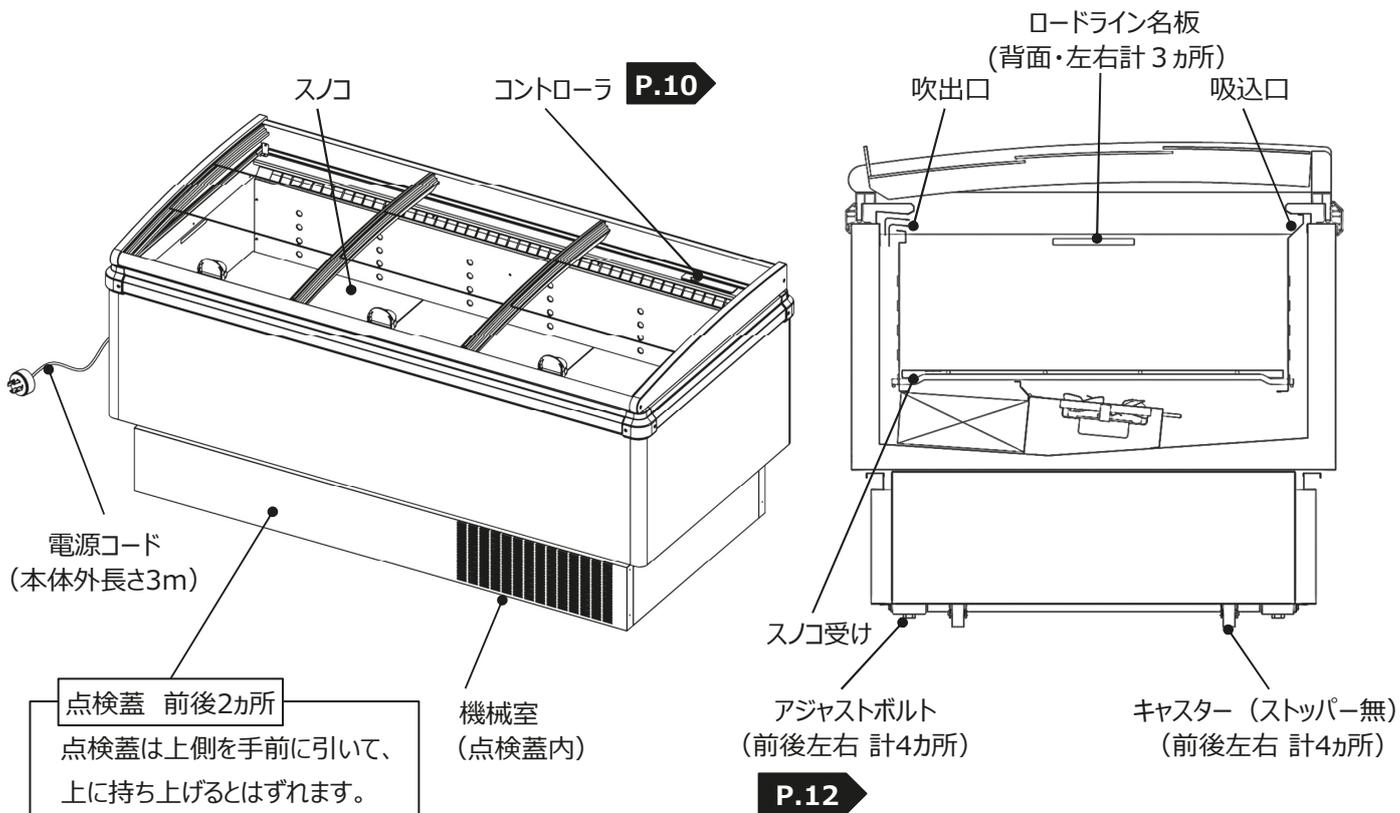
- 食品販売用のショーケースです。密閉容器（食品）の展示販売用としてご使用ください。医薬品・学術試料・食品以外の保管には使用しないでください。
- 硫黄系ガス・酸・アルカリ雰囲気（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、メッキ工場、食品加工工場や加工をする店舗等）では、熱交換器や配管が腐食をおこすおそれがあります。当社代理店にご相談ください。
- 製品を長く、清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れ・点検をしてください。

### 可燃性冷媒使用製品ご使用上の注意事項

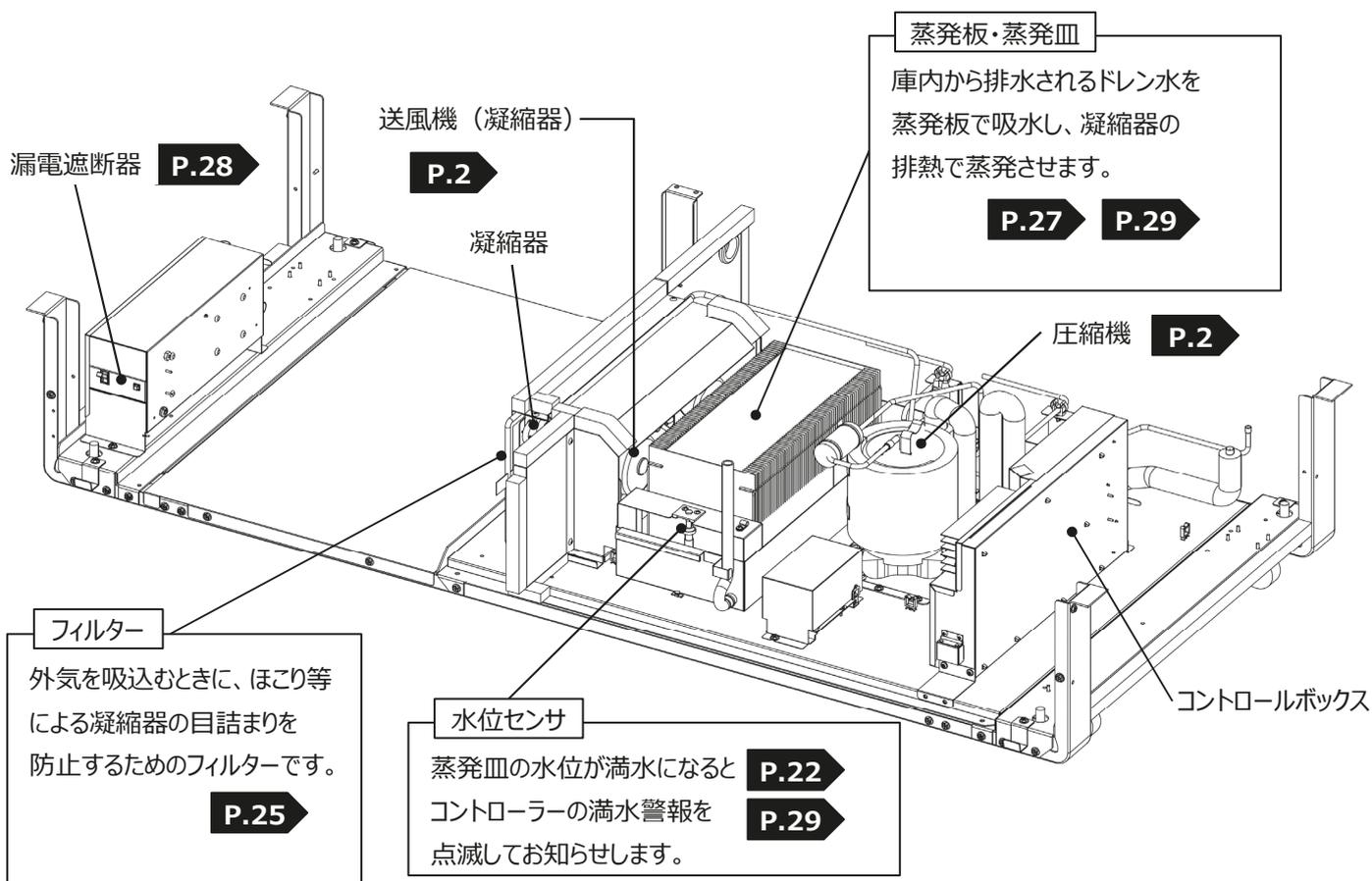
- 可燃性冷媒を使用する製品につき冷媒漏えい時には下記対応を直ちに行ってください。冷媒の滞留が起きないように十分な換気を行ってください。換気は換気扇などで実施せず、窓を開けて行ってください。機器の近くからは着火源を排除してください。
- 輸送、保管、据え付け、メンテナンス、撤去、廃棄を行う場合は下記を必ずご確認ください。本製品は可燃性物質であるプロパン(R290)を使用しているため、製品周辺での火気使用は厳禁です。機器の近くからなるべく着火源を排除してください。  
※着火源にはライターやバーナーなどの裸火、コンロなどの燃焼機器、ヒーター、たばこ、ブラシモーターによる摩擦熱、静電気、換気扇や照明機器類のON/OFFスイッチなどが該当します。作業時は作業場所のすぐ近くに消火器があることを確認ください。消火器が近くにない場合は、着火時に即座に消火できるよう水を入れたバケツ、または水を浸したウエスを携行ください。
- 輸送、据え付け、メンテナンス、撤去、廃棄の作業時は**R290に対して使用が許可されている携帯形漏えい検知器を常に携行**し、冷媒漏えいしていないことを確認してください。

# 各部のなまえとはたらき

## 本体

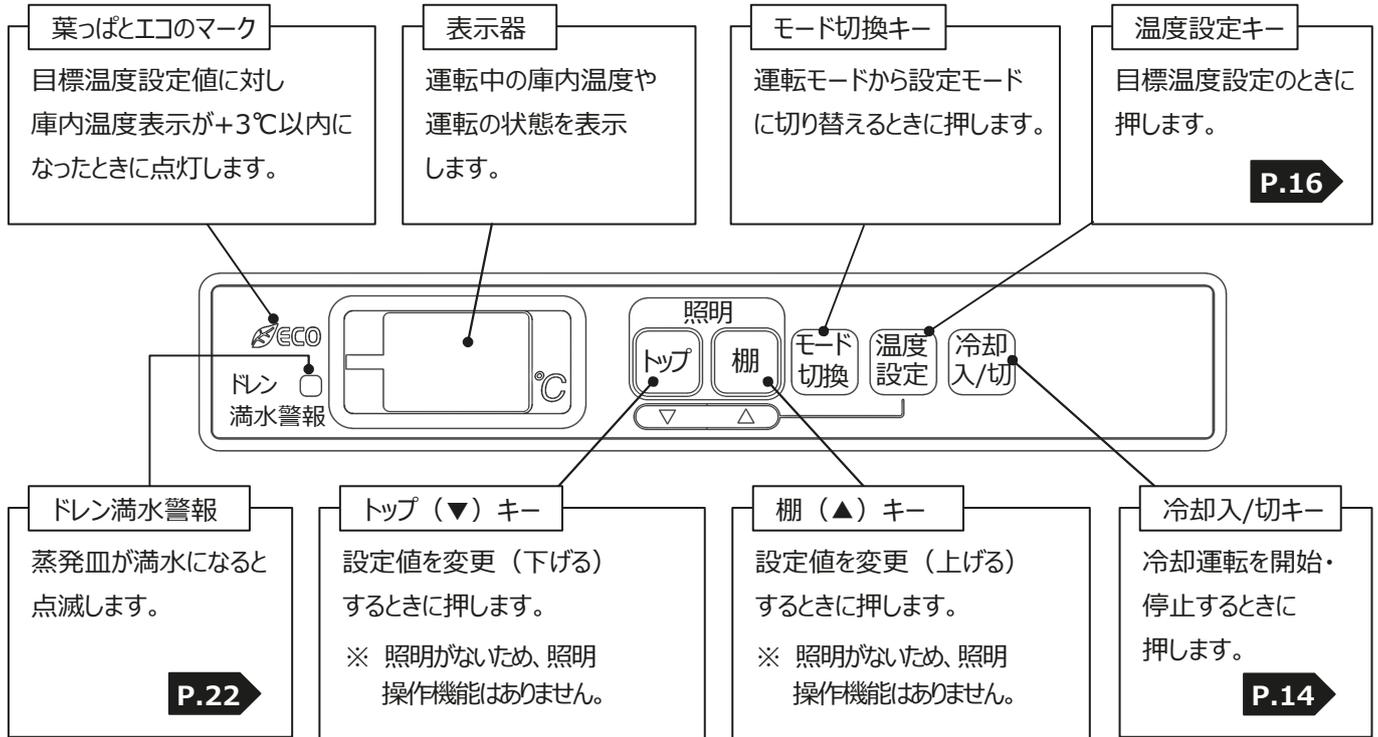


## 機械室

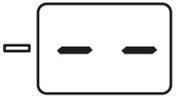


# 各部のなまえとはたらき つづき

## コントローラ



## 運転中の表示

表示	運転状態	表示	運転状態
 (バーバー)	冷却運転停止中	 (庫内温度と異常表示の交互点滅)	異常警告表示 <b>P.33</b>
 (庫内温度 0℃の場合)	冷却運転中	 (庫内温度点滅)	点滅周期 3秒点灯/0.5秒消灯の場合 異常警告表示 <b>P.33</b>
 (エルシー)	コントローラ 操作 ロック中 <b>P.32</b>	 (庫内温度点滅)	点滅周期 0.5秒点灯/0.5秒消灯の場合 除霜禁止モード <b>P.33</b>
 (デーエフ)	霜取り運転中 ● 冷却器霜取りのため、2日毎 1回 霜取り運転を行います。 <b>P.13</b> <b>P.16</b>		
 (ピーデー)	霜取り運転終了後の急冷運転中 ● 庫内温度が目標温度設定値+3℃以下になるか、または霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。		

# ご使用前の準備

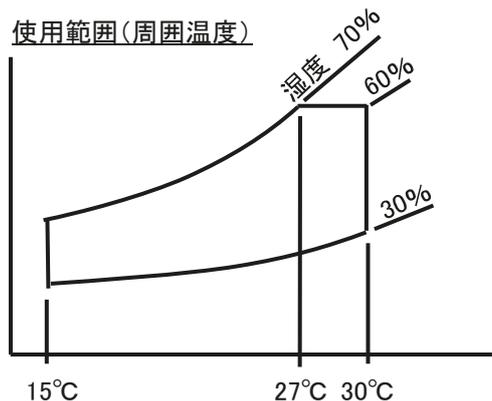
## 据え付け場所の選定

性能を十分発揮できるように次のような場所に設置してください。

ご使用されるお客様自身で据え付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

### 周囲環境

標準条件	27℃ 70%
------	---------



 <b>警告</b>	据え付けは販売店または 専門業者に依頼する 火災・感電・水漏れの原因
	屋外で使用しない 火災・感電・漏電の原因
	湿気が多い所や水のかかり やすい場所に据え付けない 漏電・感電の原因

- 使用範囲をこえると性能低下の原因になります。
- 周囲温度が35℃以上（夜間、空調運転停止時など）になると、保護装置により正常な冷却運転が保てなくなります。

### 熱気から離れたところ

- 近くに熱源があるところや、直射日光のあたる場所に据え付けしないでください。

ショーケースの周囲温度が上昇し、暖かい外気が庫内に入り込み冷却性能低下の原因になります。

### 吸気・排気スペースを確保する

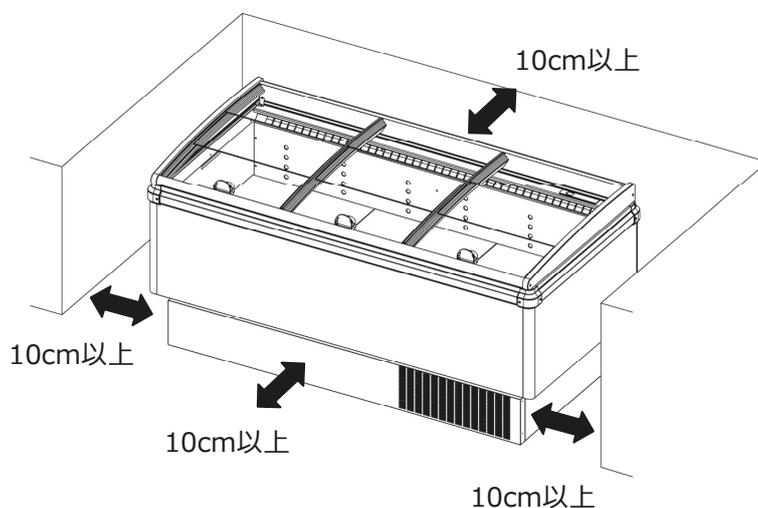
- ショーケースの左右前後に10cm以上のすきまを確保してください。
- 前面の吸気口や背面上部の排気口をダンボールや商品などでふさがないでください。

吸気・排気スペースを確保していないと、冷却性能・蒸発性能・安全機能低下の原因になります。

### 丈夫で水平なところ

- 丈夫で水平なところに据え付けてください。

音や振動の原因になります。



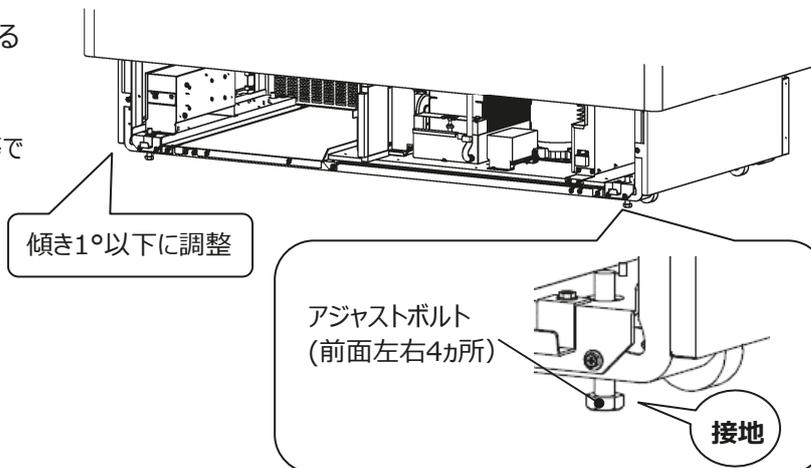
# ご使用前の準備 つづき

## 設置

### 傾き

ショーケースの左右・前後の傾きが1°以下になるようにアジャストボルトで調整をしてください。

- 傾きは機械室前面（点検蓋内）のベース上等で水準器を使い、確認してください。



### 固定

ショーケースが移動しないようにアジャストボルト（前後左右4カ所）で固定してください。

## 電源

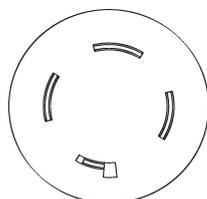
### 電源

電源	電源プラグ
三相200V	回転式接地形3極 (250V 20A)

 <b>警告</b>	電源は専用の三相200V コンセントを使用する 発熱・火災の原因
---	--

### アース

電源プラグは回転式接地形3極です。  
必ずアース端子付きのコンセントにプラグを差して下さい。



<コンセント形状>

 <b>警告</b>	アース端子付きのコンセント にプラグを差す 感電の原因
---	-----------------------------------

- アース端子がない場合は、アース工事を実施して、アースを接続してください。  
アース工事は「電気設備に関する基準」に従って、電気工事士の有資格者が行ってください。

据付工事完了後、34ページの事項をお客様自身でご確認ください。

## コントローラの時刻を合わせる

正しい時間に霜取り運転を開始するため、運転を開始する前と停電復帰後など電源を入れなおしたときは、コントローラの時刻設定をおこなってください。

		コントローラ表示内容
1	 <b>を3秒以上押し続ける</b> ●設定モードに変更します。	 (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)
2	 <b>を5回押す</b>	 ("d0"で時刻設定(時)の設定ができます)
3	 <b>を押す</b>	 (現在時刻(時)が表示されます) 例 現在時刻12時の場合
4	  ▼ ▲ <b>を押して、現在時刻(時)の値を変更する</b>	 (設定は00~23時でおこないます) 例 現在時刻13時の場合
5	 <b>を押す</b> ●現在時刻(時)の設定を完了します。	 ("d1"で時刻設定(分)の設定ができます)
6	 <b>を押す</b>	 (現在時刻(分)が表示されます) 例 現在分59分の場合
7	  ▼ ▲ <b>を押して、現在時刻(分)の値を変更する</b>	 (設定は00~59分でおこないます) 例 現在分30分の場合
8	 <b>を押す</b> ●現在時刻(分)の設定を完了します。	 (モニタ記号表示に戻ります)
9	 <b>を3秒以上押し続ける</b> ●運転モードに戻ります。	 または  (例 庫内温度-20℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

コントローラに『E6』が表示されている場合は停電発生により時刻がずれていることがあります。

時刻を確認し、ずれている場合は再度時刻設定をおこなってください。

# ご使用方法

食品販売用のショーケースです。医薬品・学術試料・食品以外の保管には使用しないでください。

## 冷却運転を開始・停止する

運転を開始する前に、ショーケース専用の三相200Vコンセントを使用していることを確認してください。

1

表示器に 

が表示されていることを確認する

- 表示されていないときは、漏電遮断器が「OFF」になっていないか確認してください。

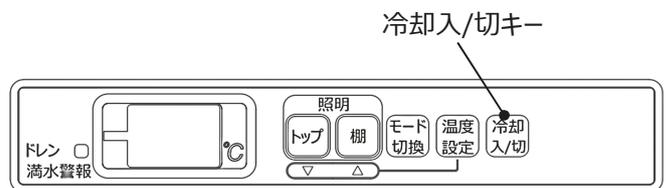


2

 を3秒以上押し続け、

運転を開始する

- 圧縮機は停止保持時間（5分）経過後に動き始めます。



3

表示器に庫内温度 

(例：庫内温度20℃のとき)

が表示されたことを確認する

- 冷却運転開始時の庫内温度が表示されます。



冷却運転を停止するときは、手順2の冷却入/切キーを3秒以上押し続けてください。表示が『--』に変わります。

## 商品の入れ方

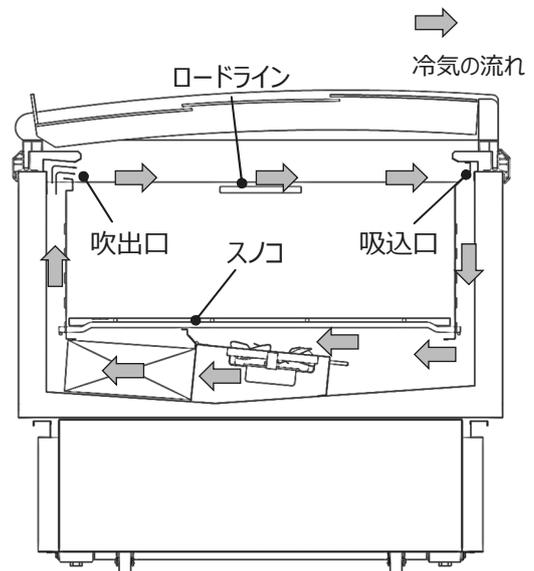
1

1時間程運転し、庫内が冷えていることを確認する

2

商品を庫内に入れる

- 商品で吹出口と吸込口を塞いだり、ロードラインより上に陳列すると、冷気の流れが乱れ、商品が冷えにくくなります。
- 冷蔵温度帯でご使用時にロードラインより上に商品を陳列すると、吹出口付近の商品が凍結する原因になります。



## 工場出荷設定値

工場出荷時は **冷凍温度帯** で運転するように設定しています。

温度帯の切り替え方法については、次の『**冷蔵⇔冷凍を切り替える**』をご覧ください。

	冷凍温度帯	冷蔵温度帯	内容
庫内目標温度 設定値	-22℃	0℃	温度設定変更方法は <b>P.16</b> をご覧ください。
低温制限温度	-25℃	-6℃	冷えすぎ防止のための制限温度です。 この温度より低い温度設定はできません。
霜取り運転 開始時刻	7時 (1回/2日)		コントロールの時刻に合わせて霜取り 運転を開始します。時刻の合わせ方は <b>P.13</b> をご覧ください。
霜取り方法	ヒータ方式		ヒータ方式：ヒータの熱で霜取りを行います。

 庫内目標温度は商品温度を保つための制御設定値です。

## 冷凍 ⇔ 冷蔵 を切り替える

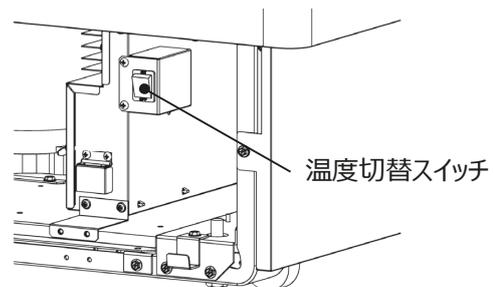
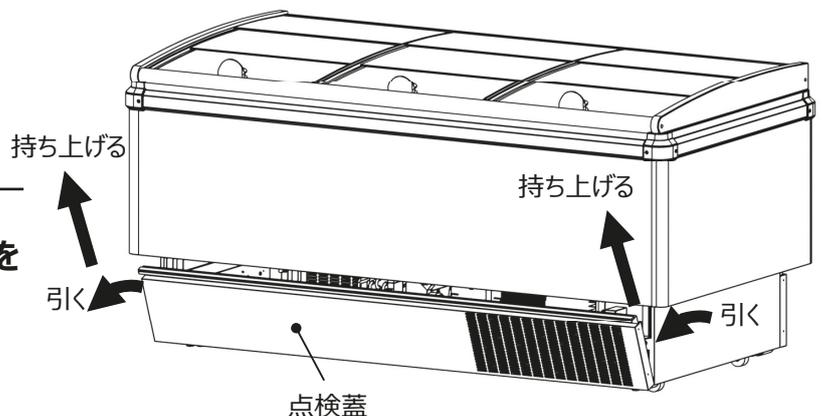
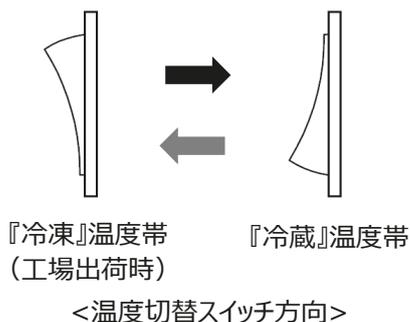
冷凍 ⇔ 冷蔵 を温度切替スイッチで簡単に切り替えができます。

### 1 前側の点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。

### 2 機械室右側の温度切替スイッチを『冷蔵』に切り替える

- コントロールの表示器に "ch" が3秒ほど表示され庫内温度表示にもどります。



<機械室前側（右側）から見た図>

再び『冷凍』温度帯をご使用になるときは同じ手順で切り替えてください。

# ご使用方法 つづき

## 目標温度設定値を変更する

コントローラの目標温度設定値を変更し、庫内温度を調整することができます。

工場出荷時は **-22℃** に設定しています。

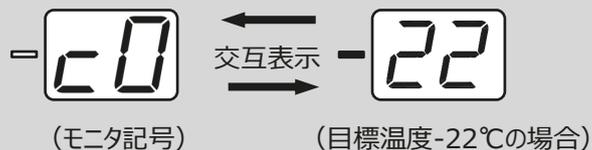
1



を3秒以上押し続ける

- モニタ記号と現在の目標温度設定値が交互に表示されます。

コントローラ 表示内容



2



棚

を押し、



目標温度設定を変更する

- 設定値を変更すると交互表示はとまります。
- トップキー：設定値を下げるときに押します。  
棚キー：設定値を上げるときに押します。
- 目標温度は低温制限温度  
冷凍運転時 **-25℃**  
冷蔵運転時 **-6℃** より低い温度の設定はできません。

低温制限温度：冷え過ぎを防止ための  
設定温度下限値

例) -22℃から-24℃に変更する場合



例) -22℃から-20℃に変更する場合



3



を押し、確定する

- 運転モードに戻ります

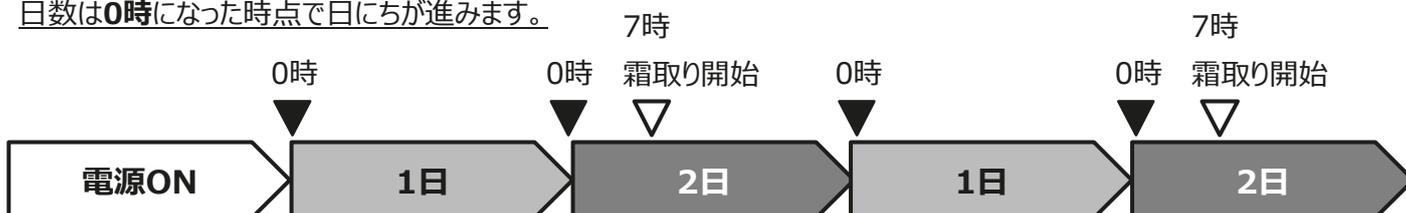


現在の庫内温度表示に戻ります

## 霜取り周期について

工場出荷時は 2日毎に1回 朝7時に霜取り運転を開始するように設定しています。

日数は0時になった時点で日にちが進みます。



- 運転を開始する前に、時刻設定を実施してください。 **P.13**

## 霜取り周期を変更する

工場出荷時は 2日毎に1回 朝7時に霜取り運転を開始するように設定しています。

霜取り運転周期はコントローラから変更できます。

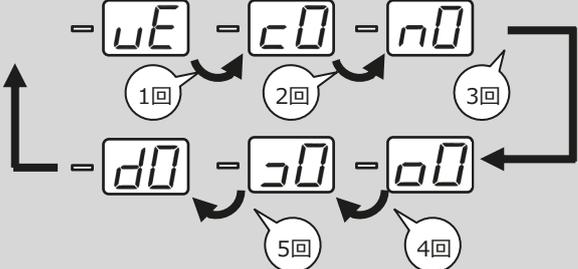
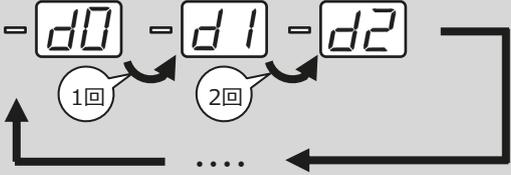
		コントローラ 表示内容
1	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定モードに変更します。</li> </ul>	<p>(庫内温度表示から"uE"表示に変わります)</p>
2	<p><b>モード切換</b> を2回押し、モニタ記号 <b>n0</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。</li> </ul>	<p>1回 2回</p>
3	<p><b>棚</b> を3回押し、モニタ番号 <b>n3</b> を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"n0"に戻ります。</li> </ul>	<p>1回 2回 3回</p>
4	<p><b>温度設定</b> を押し、霜取り運転周期を表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時は2日毎の設定</li> </ul>	<p>(霜取り運転周期 2日毎の場合)</p>
5	<p><b>トップ</b> <b>棚</b> を押し、霜取り運転周期を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップキー：設定値を下げるときに押します。</li> <li>● 棚キー：設定値を上げるときに押します。</li> <li>● 設定変更後の0時になった時点で日数が進みます。</li> </ul>	<p>例) 2日毎から3日毎に変更する場合</p> <p><b>棚</b> を1回押す  → </p> <p>例) 2日毎から1日毎に変更する場合</p> <p><b>トップ</b> を1回押す  → </p>
6	<p><b>温度設定</b> を押し、確定する</p>	<p>("n4"が表示されます)</p>
7	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転モードに戻ります。</li> </ul>	<p>または </p> <p>(例 庫内温度-22℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます</p>

# ご使用方法 つづき

## 霜取り運転開始時間を変更する

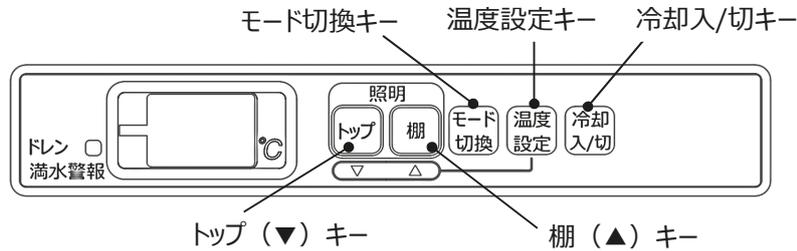
工場出荷時は 2日毎に1回 朝7時に霜取り運転を開始するように設定しています。

霜取り運転開始時刻は、コントローラから変更できます。

<p><b>1</b></p>	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定モードに変更します。</li> </ul>	<p>コントローラ 表示内容</p> <p>-  (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)</p>
<p><b>2</b></p>	<p><b>モード切換</b> を5回押し、モニタ記号 =  を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>3</b></p>	<p><b>棚</b> を2回押し、モニタ番号 =  を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続けて押すと、モニタ記号は"d0"に戻ります。</li> </ul>	
<p><b>4</b></p>	<p><b>温度設定</b> を押し、霜取り運転開始時刻を表示する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場出荷時は朝7時に霜取り運転開始の設定。</li> </ul>	<p>-  (除霜開始時刻 7時の場合)</p>
<p><b>5</b></p>	<p><b>トップ</b> <b>棚</b> を押し、霜取り運転開始時刻を変更する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● トップキー：設定値を下げるときに押します。</li> <li>● 棚キー：設定値を上げるときに押します。</li> </ul>	<p>例) 7時から8時に変更する場合</p> <p><b>棚</b> を1回押す -  → - </p> <p>例) 7時から6時に変更する場合</p> <p><b>トップ</b> を1回押す -  → - </p>
<p><b>6</b></p>	<p><b>温度設定</b> を押し、確定する</p>	<p>-  ("d3"が表示されます)</p>
<p><b>7</b></p>	<p><b>モード切換</b> を3秒以上押し続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運転モードに戻ります。</li> </ul>	<p>-  または - </p> <p>(例 庫内温度-22℃の場合) (バーバー表示) 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます</p>

## コントローラ キー操作ロック機能について

いたずら防止のため、コントローラのキー操作をロック（操作禁止）することができます。



### キー操作ロックのパターン

設定値によって以下のキー操作ロック（操作禁止）パターンが選択できます。（設定方法 **P.20**）

設定値	ロックされる操作キー				
-00	工場出荷時設定値です。キー操作ロックは解除されています。				
-01	トップ	棚	モード切替	温度設定	冷却入/切
-02			モード切替	温度設定	冷却入/切
-03			モード切替		冷却入/切
-04			モード切替		

### キー操作ロックされる内容

操作キー	キー操作ロックの内容
トップ 棚	照明ON/OFF操作や設定値変更操作をロックします。 (例 照明点灯中に設定した場合は、操作をしても消灯しません)
モード切替	アフターサービス時の確認操作・設定値の変更操作をロックします。
温度設定	運転時の目標温度値変更操作をロックします。
冷却入/切	冷却運転の開始・停止操作をロックします。 (例 冷却運転中に設定した場合は、操作をしても冷却運転は停止しません)

キー操作ロック中に操作すると表示部に  $\text{= LC}$  表示されます。

キー操作ロック中は一時解除で操作可能になります。

**P.21**

# ご使用方法 つづき

## コントローラ キー操作ロックのしかた

キー操作ロックをしていない状態からキー操作ロックを設定するときは以下の手順で設定できます。



### コントローラ 表示内容

**1** **モード切替** を3秒以上押し続ける

- 設定モードに変更します。

- **uE** (庫内温度表示から"uE"表示に変わります)

**2** **モード切替** を1回押し、モニタ記号 **-c0** を選択する

- 続けて押すと、モニタ記号は"uE"に戻ります。

- **uE** → - **c0**

**3** **トップ** を2回押し、モニタ番号 **-cE** ▼ を選択する

- 続けて押すと、モニタ記号は"c0"に戻ります。

- **c0** → - **cH** → - **cE**  
 (1回) (2回)

**4** **温度設定** を押し、設定値を表示する

- キー操作ロックしていないときは"00"が表示されます。

- **00** (キー操作ロックなし"00"の場合)

**5** **棚** を押し、設定値を変更する

- ▲ 00 : ロック解除
  - 01 : モード切替・温度設定・冷却入/切・照明をロック
  - 02 : モード切替・温度設定・冷却入/切 をロック
  - 03 : モード切替・冷却入/切 をロック
  - 04 : モード切替 をロック
- 詳細は **P.19**

- **00** → - **01** → - **02** → - **04** → - **03** → - **02**  
 (1回) (2回) (3回) (4回)

(内容に合わせて設定値を選択してください。)

**6** **温度設定** を押し、確定する

- **02** → - **cH**

(例 設定値"02"を設定の場合)

**7** **モード切替** を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります。

- **0** または - **--**

(例 庫内温度0℃の場合) (バーバー表示)  
 現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

## コントローラ キー操作ロック一時解除のしかた

キー操作ロック中に操作するときは、一時解除をしてください。

### 1 を3回押す

- 操作完了してから5分経過後、再びキー操作ロックされます。

コントローラ 表示内容



2回繰り返し表示ます。

## コントローラ キー操作ロック変更・解除のしかた

キー操作ロックの解除、変更は以下の手順でできます。

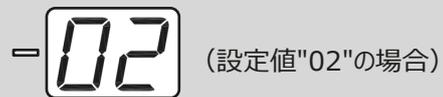
### 1 を3回押して操作可能にする

コントローラ 表示内容



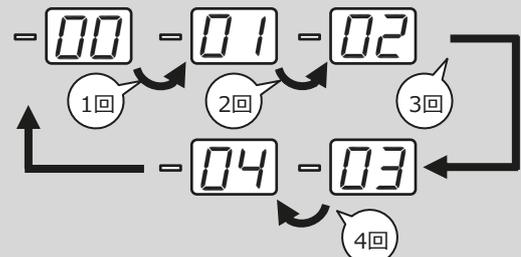
2回繰り返し表示ます。

### 2 の手順1~4で設定値を表示する



### 3 を押し、設定値を変更する

- 00 : ロック解除
  - 01 : モード切替・温度設定・冷却入/切・照明をロック
  - 02 : モード切替・温度設定・冷却入/切 をロック
  - 03 : モード切替・冷却入/切 をロック
  - 04 : モード切替 をロック
- 詳細は 



(内容に合わせて設定値を選択してください。)

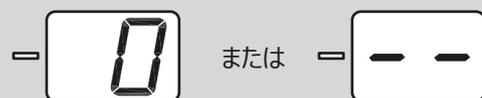
### 4 を押し、確定する



(例 設定値"01"を設定の場合)

### 5 を3秒以上押し続ける

- 運転モードに戻ります。



(例 庫内温度0℃の場合) (バーバー表示)  
現在の庫内温度または、バーバーが表示されます

# ご使用方法 つづき

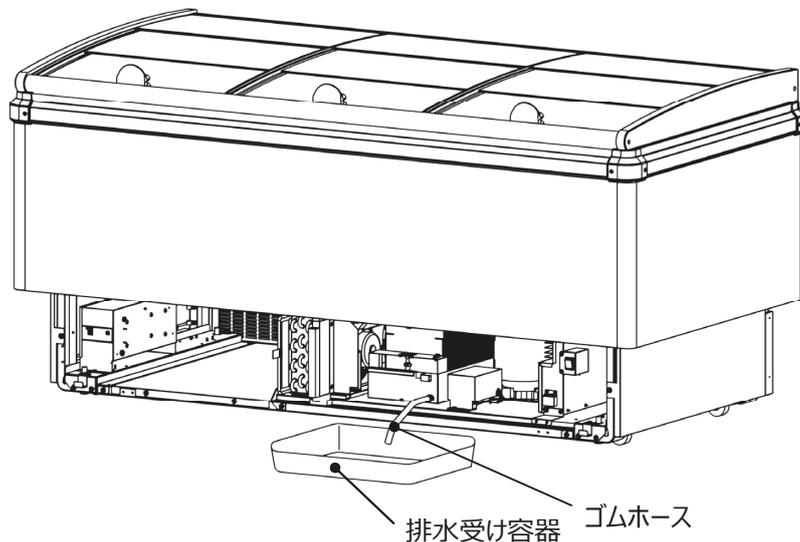
## ドレン満水警報の解除のしかた

蒸発皿が満水になるとコントローラのドレン満水警報を点滅してお知らせします。

以下の手順で解除してください。

### 1 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。



### 2 ゴムホースを蒸発皿の固定からはずして排水する

- 排水するときは、排水受け容器を用意してください。
- 排水後は必ずゴムホースを元の位置に戻してください。

#### 頻繁にドレン満水警報が発報するときは

- 蒸発板のお手入れをしてください。 **P.27**
- お手入れをしても頻繁にドレン満水警報が発報するときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。  
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)
- 蒸発板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

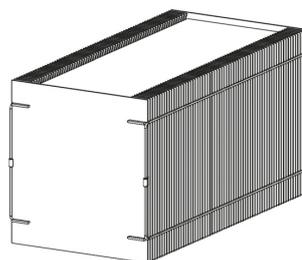
## 消耗品

右記の部品は消耗品です。必要に応じて交換をしてください。

ご注文はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

交換目安はご使用方法・環境により変化します。

蒸 発 板 (交換目安:2年)

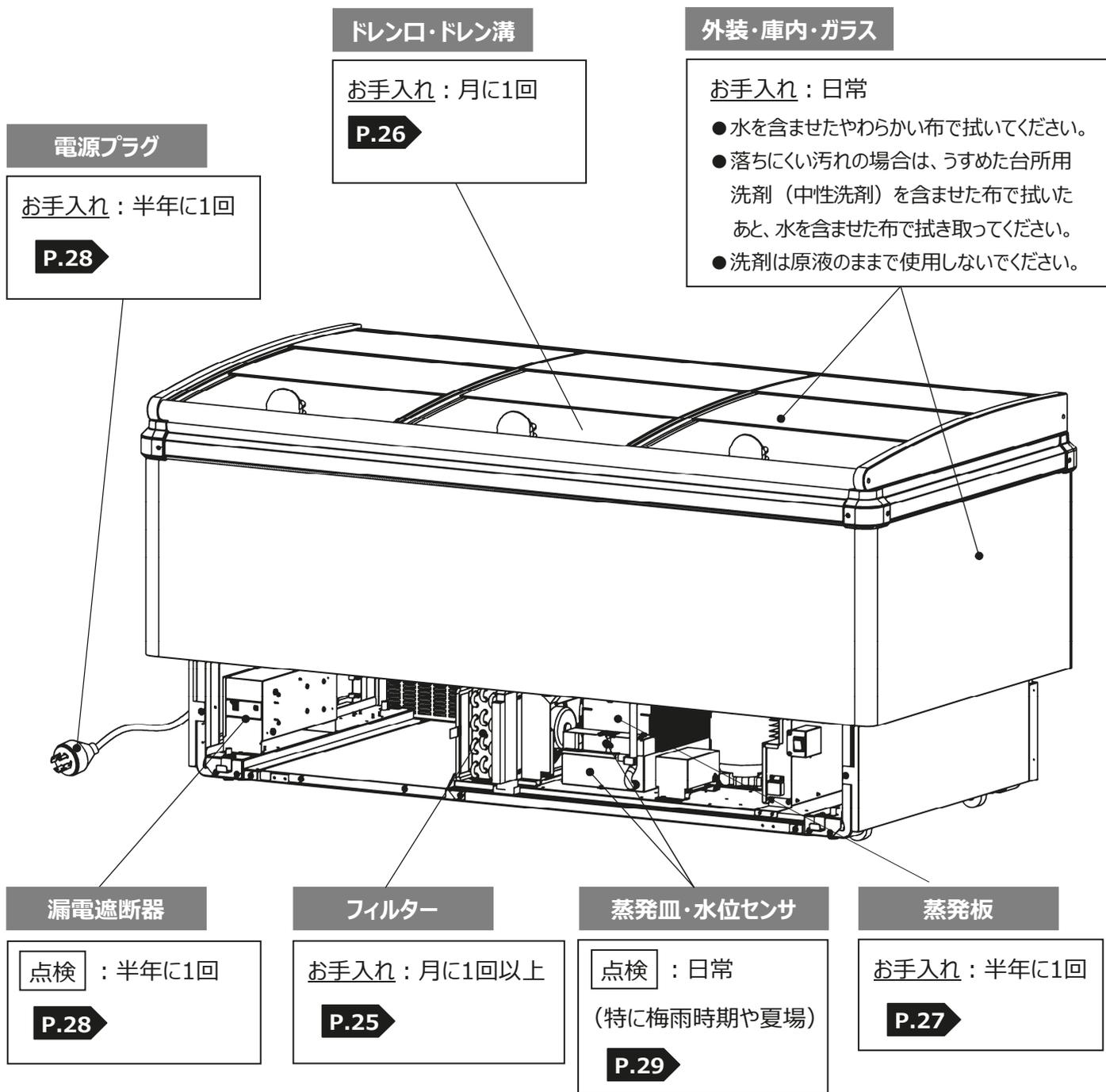


(全機種共通部品)

# お手入れと点検

製品を長く、清潔にご使用いただくために  
定期的にお手入れ・点検をしてください。

## お手入れ・点検箇所と頻度



### お願い

●以下のものは使用しないでください。

(傷つき・腐食・変色・変形の原因になります)

- ◆台所用洗剤（中性洗剤）以外の洗剤
- ◆ベンジン・シンナー・漂白剤・クレンザー・アルコール
- ◆スチールタワシ・タワシ
- ◆熱湯・酸



**警告**

製品に直接水をかけない  
漏電・感電の原因

# お手入れと点検 つづき

## お手入れをする前に

お手入れのときは必ず下記の手順で冷却運転を停止し、安全のために漏電遮断器を切ってください。

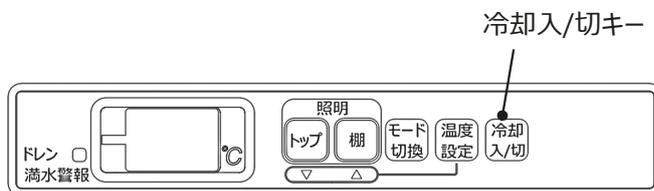
1

冷却  
入/切

を3秒以上押し、

冷却運転を停止する

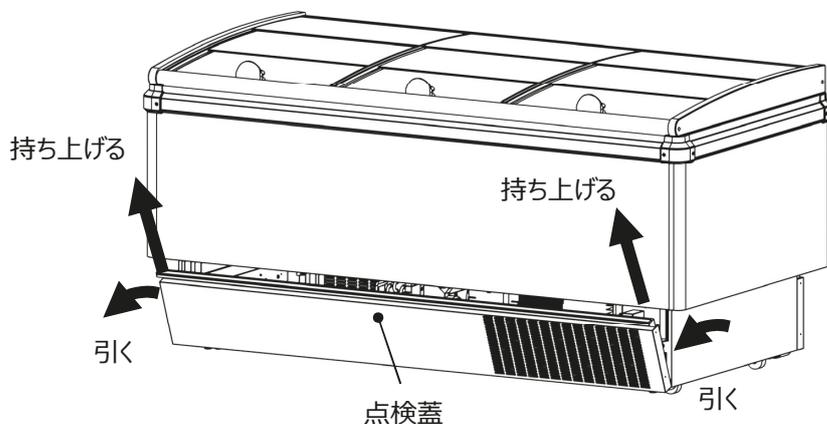
- 漏電遮断器を切る前に必ず冷却運転を停止してください。



2

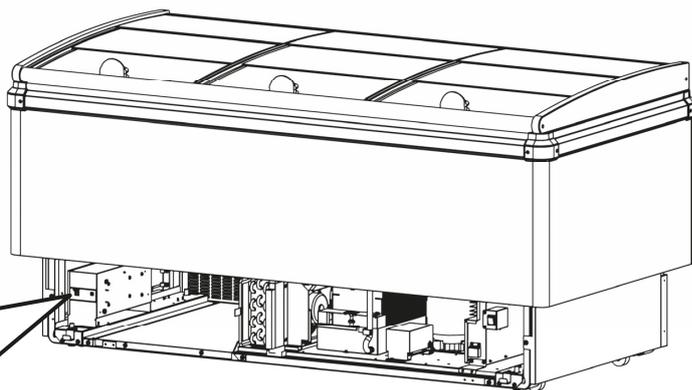
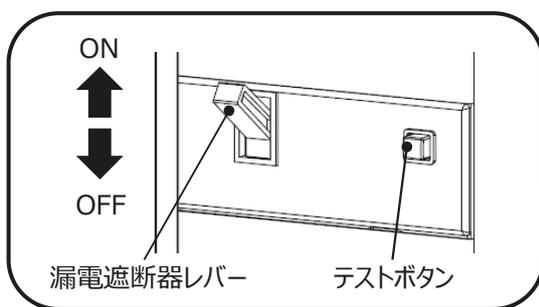
点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。



3

漏電遮断器レバーを「OFF」にする



**警告**

お手入れや点検のときは  
必ず漏電遮断器を切り  
電源プラグを抜く  
感電・ケガの原因

お手入れが終わりましたら、逆の手順で冷却運転を開始してください。

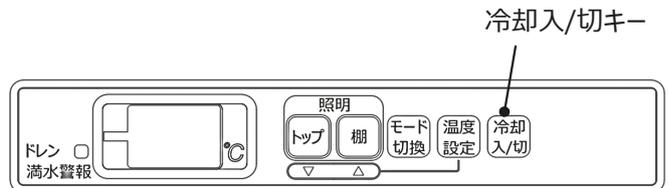
## お手入れのしかた

フィルター お手入れ：月に1回以上

ほこりがたまった状態で運転を続けると、冷却能力低下や安全に運用するための保護機能により冷却運転停止の原因になります。

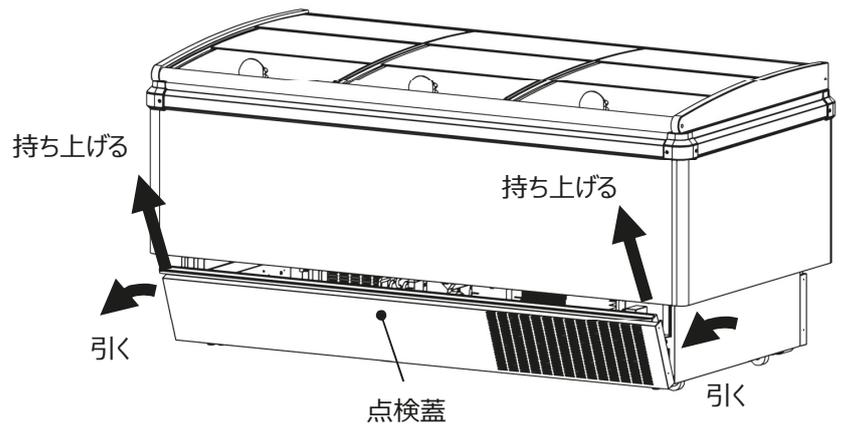
**1**  を3秒以上押し、

冷却運転を停止する



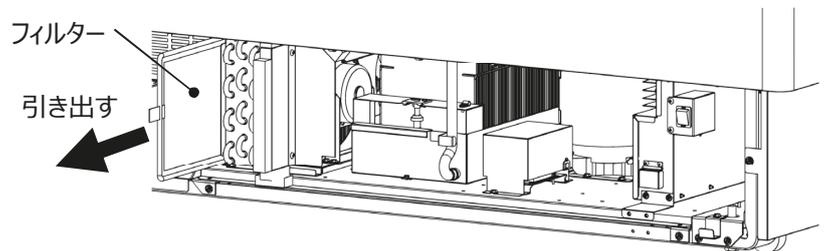
**2** 点検蓋をはずす

- 点検蓋は上側を手前に引いて、上に持ち上げるとはずれます。



**3** フィルターを引き出してほこりをよく取り除く

- 掃除機や、やわらかいブラシで取り除いてください。



 **注意**

フィルター清掃時は凝縮器フィンに直接手を触れないケガの原因

お手入れが終わりましたら、フィルターを正しい向きに入れ直し、運転を再開してください。

# お手入れと点検 っつき

ドレン口・ドレン溝 お手入れ：月に1回

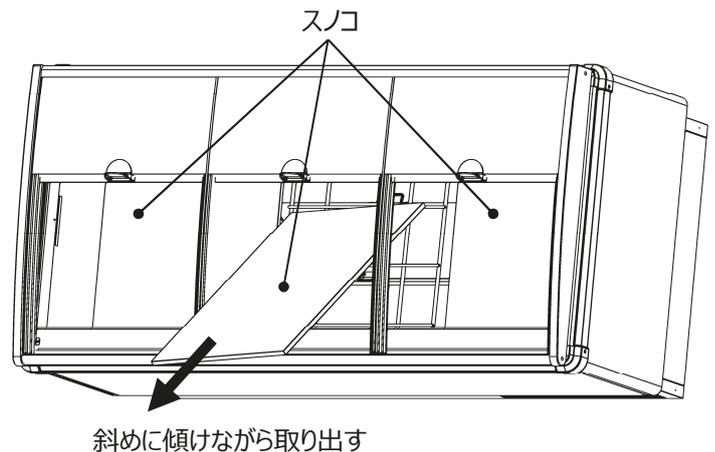
ドレン口が詰まった状態で使用すると、ドレン水が排水されず、庫内に水があふれる原因になります。

## 1 P.24 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

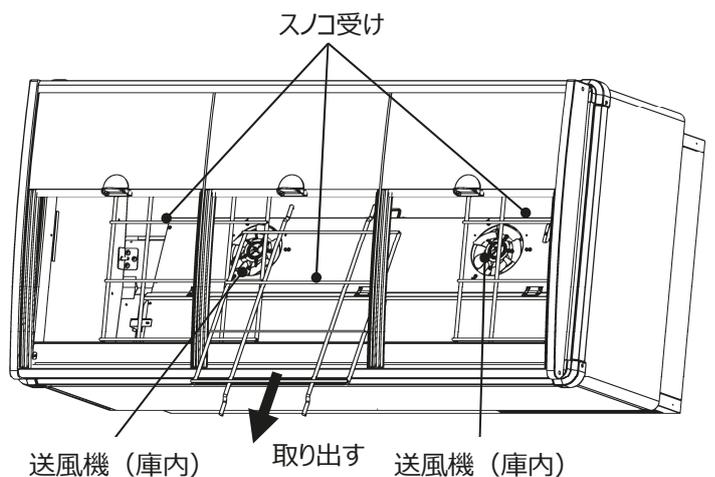
## 2 スノコを中央の扉から取り出す

- 左右のスノコについても、中央の扉から取り出してください。



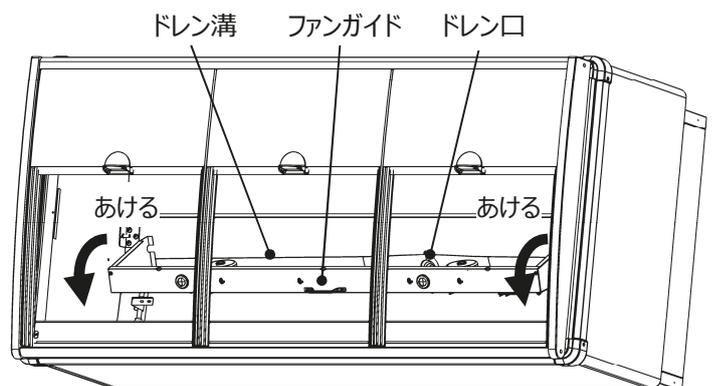
## 3 スノコ受けを取りはずし、扉から取り出す

- スノコ受けはそれぞれの扉から取り出すことができます。



## 4 庫内ファンガイドをあける ドレン口やドレン溝に異物や 詰りがあるときは取り除く

- ドレン口に直接水を流して清掃しないでください。水漏れの原因になります。
- 汚れがある場合は水を含ませた布で拭いてください。
- 送風機 (庫内) に水がかからないようにご注意ください。送風機故障の原因になります。



## 蒸発板 お手入れ：半年に1回

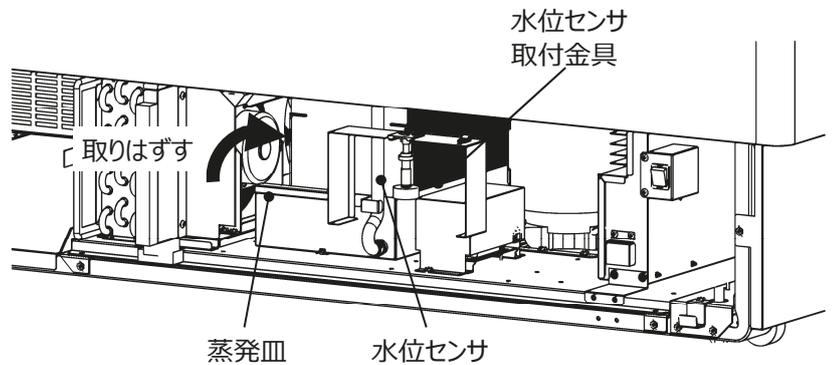
蒸発板に汚れが付着していると、蒸発性能低下による水漏れの原因になります。

### 1 P.24 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。

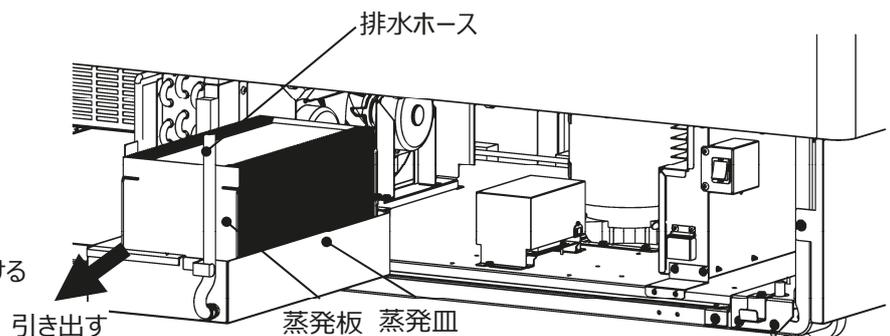
### 2 水位センサを取付金具ごと蒸発皿から取りはずす

- 水位センサの配線を強く引っ張らないように取りはずしてください。



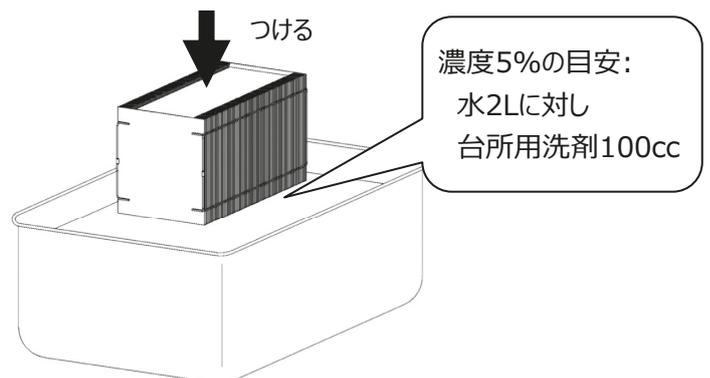
### 3 蒸発皿と蒸発板を引き出し 蒸発皿のみ元の位置に戻す

- 蒸発皿にドレン水が残っている場合は排水ホースで排水をしてから、引き出してください。
- 蒸発板をお手入れする間ドレン水を受けるため蒸発皿を元に戻してください。



### 4 蒸発板を台所用洗剤（中性洗剤）を濃度5%にうすめた液に30秒ほどつける

- 蒸発板は水を含むと重たくなります。持ち上げるときは蒸発板の底面を支えてください。
- 蒸発板をブラシなどでこすらないでください。



### 5 水でよく洗い流す

- 洗剤分が残っていると蒸発板のフレームがさびる原因になります。

#### 蒸発板の交換について

- お手入れをしても頻りにドレン水が残っているときは、新しい蒸発板に交換してください。
- 蒸発板は消耗品です。2年を目安に交換してください。
- 環境によっては蒸発板の性能低下が進み、1年前後で交換になる場合があります。  
(粉塵・油分の多い場所・温度・湿度の高い環境など)

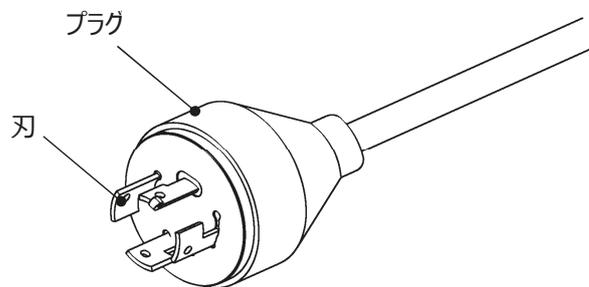
# お手入れと点検 つづき

## 電源プラグ お手入れ：半年に1回

ほこりがたまった状態で使用すると、絶縁不良による火災の原因になります。

### 1 P.24 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

- お手入れのときは電源を切ってください。



### 2 電源プラグや刃のほこりをよく取り除く

- 水ぶきや水洗いはしないでください。

### 3 電源プラグをコンセントの根元まで差し込んだ後、右に回し、抜けがないうことを確認する。



**注意**

電源プラグは、がたのないように刃の根元まで確実に差し込む  
火災・感電の原因

## 点検のしかた

## 漏電遮断器 点検：半年に1回

故障した状態でご使用されますと、感電の原因になります。

### 1 運転を停止してから、点検蓋をはずす

P.14

- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

### 2 漏電遮断器のテストボタンを押す

- 正しく作動すると、レバーが「OFF」になります。

#### 点検時に正しく漏電遮断器が作動しないとき

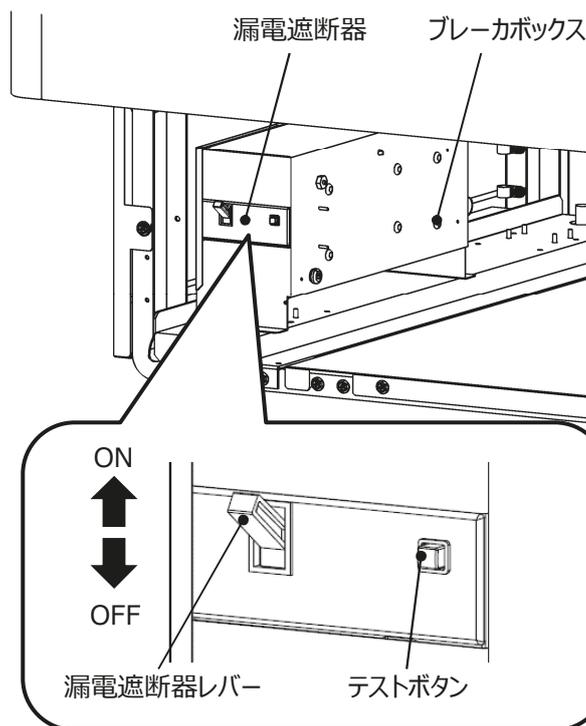
運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### 3 作動確認後、漏電遮断器レバーの位置を「OFF」から「ON」にする



**警告**

漏電遮断器は定期的に動作を確認する  
火災・感電の原因



## 蒸発皿 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

水漏れを防止するために、蒸発皿にドレン水が残っていないか定期的に点検をしてください。

### 1 P.24 の手順で漏電遮断器を「OFF」にする

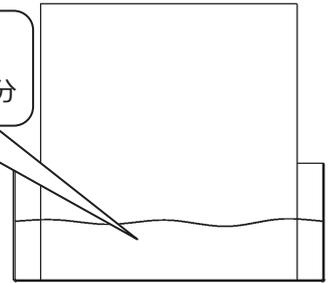
- 点検のときは電源を切ってください。

### 2 蒸発皿にドレン水が残っていないか確認し、残っているときは排水をする

- 蒸発皿深さ半分くらいのドレン水が頻繁に残っているときは蒸発板の性能が低下しているおそれがあります。蒸発板のお手入れをするか、新しい蒸発板に交換してください。

P.22 P.27

水位目安：  
蒸発皿深さの半分



## 水位センサ 点検：日常（特に梅雨時期や夏場）

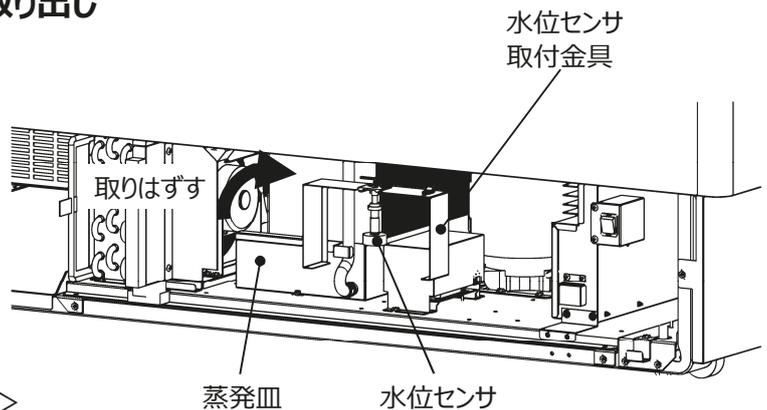
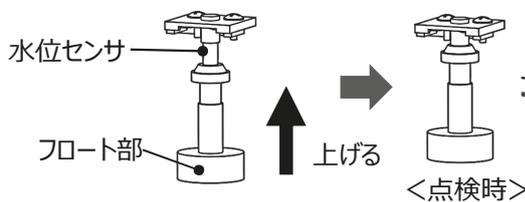
水位センサが正常に作動するか定期的に点検をしてください。

### 1 点検蓋をはずす

- 点検は電源が入っている状態で行ってください。

### 2 水位センサ取付金具を蒸発皿から取り出しフロート部を上を持ち上げる

- フロート部を持ち上げることによって、簡易的に水がたまっているのと同様の状態にします。



### 3 コントローラのドレン満水警報が点滅することを確認する

- ドレン満水警報が点滅しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



点検が終わりましたら、フロート部を下げた元に戻してください。

# 故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に以下の項目をお調べください。お調べになっても不具合がある場合は運転を停止して、必ず漏電遮断器を切ってから電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上でお近くの販売店にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
運転しない	停電ではありませんか。	停電解消までお待ちください。 停電解消ののち、運転を再開します。
	お店の電源ヒューズや配線用漏電遮断器が切れていませんか。	お店の電源ヒューズや配線用遮断器をご確認ください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグや刃のほこりをよく取り除き根元まで確実に差し込んでください。
	ショーケースの漏電遮断器が「OFF」になっていませんか。	漏電遮断器を「ON」にしてください。
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。 冷却運転を開始してください。 <b>P.13</b>
	 が表示されていませんか。	霜取り運転を行っています。(最長45分) 霜取り終了後、運転を再開します。 <b>P.10</b>
	温度調整運転中ではありませんか。	庫内温度が規定値に達すると運転を再開します。 しばらく経ってから圧縮機が運転しているか確認してください。
運転停止後5分以内で運転を再開していませんか。	運転停止後、5分以内に再開した場合は、圧縮機は5分経過後に運転を開始します。	
音がうるさい	床がしっかりしたところに据え付けていますか。	水平で床が丈夫な場所に据え付けてください。 <b>P.11</b>
	ショーケースが壁や物などに当たっていませんか。	ショーケースが壁や物などに当たらないように据え付け位置を調整してください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない	ショーケースの吸気・排気スペースを確保していますか。	機械室の吸気・排気のために10cm以上すきまをあけてください。 <b>P.11</b>
	直射日光があたったり、近くに熱源はありませんか。	周囲の温度が上昇し、冷却性能が悪くなる原因になりますので据え付け場所を調整してください。 <b>P.11</b>
	ショーケースのガラス扉をあけてご使用になっていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなりますので、ガラス扉をしめてご使用ください。
	 が表示されていませんか。	冷却運転停止中です。冷却運転を開始してください。 <b>P.13</b>
	冷気の吹出口・吸込口を商品などで塞いでいませんか。	冷気の吹出口・吸込口から商品などを取り除いてください。 <b>P.14</b>
	フィルターが目詰まりしていませんか。	フィルターのお手入れしてください。 <b>P.25</b>
	冷凍運転の時に温度切替スイッチを『冷蔵』でご使用されていませんか。	温度切替スイッチを確認し、正しい温度帯でご使用ください。 <b>P.15</b>
蒸発皿にドレン水が頻繁にたまる	庫内目標温度設定値が高くなっていませんか。	保冷商品に合わせて、設定値を調整してください。 <b>P.16</b>
	ショーケースのガラス扉をあけてご使用されていませんか。	ショーケース庫内に外気が入りやすくなり、ドレン水が増える原因になります。ガラス扉をしめてご使用ください。
	蒸発板がよごれていませんか。	蒸発板のお手入れをしてください。それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください。 <b>P.27</b>

# 故障かな?と思ったら つづき

現象	原因の確認	処置方法
ドレン 満水警報が 赤く点滅する  	蒸発皿が満水です。 蒸発性能が低下しているおそれがあります。 蒸発板がよごれていませんか。	蒸発皿の水を捨ててください。 蒸発板のお手入れをしてください。 それでも良くならない場合は新しい蒸発板に交換してください <b>P.22</b> <b>P.27</b>
	水位センサのフロート部が上がったままになっていませんか。	フロート部を元の位置に戻してください。 <b>P.22</b>
コントローラの操作ができない	 が表示されていませんか。	キー操作ロックの一時解除または、解除をしてください。 <b>P.21</b>

## コントローラ にエラー表示が出たときは

庫内温度表示と以下の表示が交互に表示されているときは、原因の確認と処置を行ってください。

現象	原因の確認	処置方法	
 (イーサン)	圧縮機が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。	コントローラの『冷却入/切』キーを3秒以上長押しをして冷却運転を停止し、フィルター清掃した後、冷却運転を再開してください。 <b>P.25</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷却入/切キーを「OFF」にしない状態で処置を行なうと、エラー表示は消えません。                          また、「E4」エラー発報時は上記操作をしない場合、運転復帰しませんので、ご注意ください。</li> </ul>	
 (イーヨン)	圧縮機の吐出圧力が高くなっています。		
 (イーゴ)	吐出配管が高温になっています。 フィルターが目詰まりしていませんか。		
 (イーロク)	停電で電源が一度切れて復帰しています。コントローラの時刻がずれていませんか。		コントローラの時刻合わせをおこなってください。 <b>P.13</b>
 (エイチ)	送風機（凝縮器）の風量低下 または、送風機・センサが故障して		速やかにお買い上げ販売店または、メンテナンス業者へのご連絡ください。

## その他の表示が出たときは

つぎのような表示が出ているときは部品が故障している可能性があります。

運転を停止して、必ず電源プラグをコンセントから抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 上記以外の表示が庫内温度と交互表示しているとき
- 庫内温度表示が点滅（点滅周期 3秒点灯 0.5秒消灯しているとき）

次の表示は故障ではありません

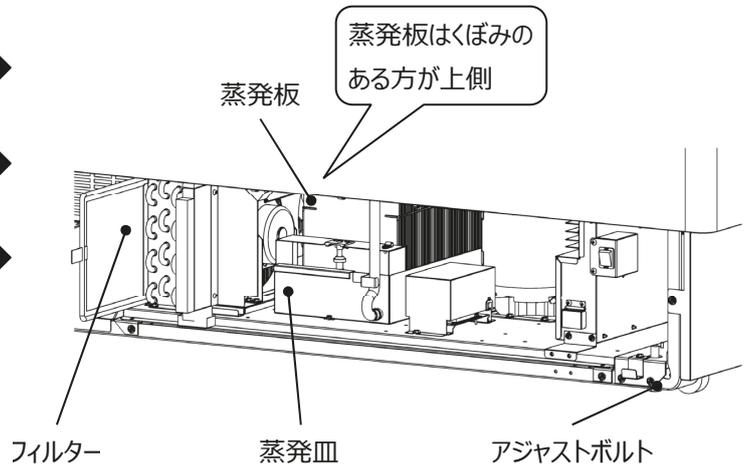
- ◇ 庫内温度表示が点滅周期 0.5秒点灯 0.5秒消灯で点滅しているときは除霜禁止モードです。  
 コントローラの温度設定キーを2回押して点滅が解除されるか確認してください。
- ◇ "Pd"が表示されているときは、霜取り運転後の急冷中です。庫内温度が目標設定温度+3℃以下になるか、また霜取り運転終了から1時間経過後に庫内温度表示に戻ります。

# 据付工事確認と試運転

試運転を行うときは、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付実施者から説明を受けてください。

## 据付工事完了時の確認事項

- アジャストボルトで固定されていますか。  **P.12**
- ショーケースの吸気・排気スペースは確保されていますか。  **P.11**
- アース端子付きのコンセントにプラグを差し込んでいますか。  **P.12**
- ショーケース専用のコンセントを使用していますか。  **P.12**
- フィルターが奥まで挿入されていますか。
- 蒸発皿の位置のずれや、蒸発板が上下逆になっていませんか。



# 保管・移設・廃棄について

## 長期間ご使用にならないとき

- 庫内の商品を全て取り出し、安全のために電源プラグはコンセントから抜いてください。
- 水のかかる場所や湿気の多いところ、腐食性ガスが発生しやすい場所には保管しないでください。
- 直射日光のあたるところには保管しないでください。
- 製品を保管するときは幼児が遊ぶ場所をさけてください。
- ドレン口・ドレン溝とその周りをきれいに清掃し、水分を十分に拭きとったあと、よく乾燥をしてください。
- 蒸発板は、お手入れをして乾かしてください。

## 移設をするとき

- 移設は当社代理店または販売店にご依頼ください。
- 取扱説明書と「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」(別紙)を製品の目立つところに添付してください。

## 廃棄をするとき

- このショーケースは可燃性冷媒を使用していますので、廃棄するときは専門業者に依頼し、可燃性冷媒を使用している旨をお伝えください。
- 廃棄時は、長期間放置せずに、速やかに専門業者に引き渡してください。

# 仕様

項目		形名	SV-JF684JTVA
用途			アイスクリーム・冷凍食品 / 精肉・鮮魚～惣菜用
庫内温度	℃		-22~-18 / -2~18
電源	-		三相200V 50/60Hz
本体	外形寸法	高さ	mm 886
		幅	mm 1800
		奥行	mm 890
	展示面積		m <sup>2</sup> 1.17
	定格内容積		L 268
	外装		- 表面処理鋼板焼付塗装及び樹脂成形品
	内装		- 表面処理鋼板焼付塗装
	冷却室		- 亜鉛メッキ鋼板
	断熱材		- ウレタン注入発泡（断熱発泡ガスHFO）
	脚部		- ナイロン車輪径Φ50自在キャスター
冷凍装置	圧縮機		- 全密閉形ロータリー式インバータ
	冷却器形式		- クロスフィン（強制通風式）
	凝縮器形式		- クロスフィン（強制通風式）
	冷媒	種類	- R290（プロパン）
		冷媒封入量	g 200
		制御方式	- 電子式膨張弁
地球温暖化係数（GWP）		- 3	
最大許容圧力		MPaG 2.0	
温度制御		- マイコン制御	
除霜方式		- ヒータ方式	
標準装備		-	アジャストボルト（4本）、デジタル温度計（コントローラ） ドレン強制蒸発装置（ドレン満水警報付）、漏電遮断器
オプション		-	バンパー（樹脂製）、コーナーカバー（ステンレス製）、 φ75キャスター（ストッパー無）、外装塗装、内装塗装 庫内ステンレス仕様
製品質量		kg 156	

品質向上のため、おことわりなく一部仕様を変更する場合がございます。

# 保証とアフターサービス

## ■保証書（別添付）

- 「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日から1年間です。  
(冷凍サイクル用部品は2年間です。)

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このショーケースの補修用性能部品の製造打切後12年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店が「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（P.30～33）にしたがってお調べください。

- なお、不具合がある場合は運転を停止して必ず電源プラグを抜き、商品を別のショーケースに移すなど処置した上で、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、**国外では使用できません。**  
また、**アフターサービスもできません。**

## ●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

## ●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料になることがあります。

## ●修理料金は

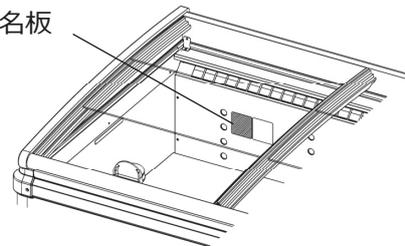
技術料+部品代+出張料などで構成されています。

- ・技術料・・・製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- ・部品代・・・修理に使用した部品代金です。
- ・出張料・・・お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

## ●ご連絡いただきたい内容

- 1.品名 三菱オープンショーケース
- 2.形名 庫内機種名板に記載  
<例> SV-JF684JTVA>
- 3.製造番号（庫内機種名板に記載の8桁の番号）

機種名板



- 4.故障の状況（できるだけ具体的に）
- 5.設置年月日
- 6.設置場所のご住所
- 7.お名前・電話番号・訪問希望日
- 8.冷媒にR290（プロパン）を使用していること

## 便利メモ

お買い上げ販売店名

電話番号

三菱電機株式会社

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号（三菱電機（株）冷熱システム製作所内）

ES79D398H01